

分光式測色色差計 オートマチックカラーアナライザー

MODEL: TC-1800MK-II

特徴

ダブルビーム方式を採用、フィードバック回路により安定性に優れています。

■分光カーブ(0.5nm間隔)と分光反射率(透過率)が得られます。
波長範囲380~780nmによる

■標準白色板及び色標準板(赤・青・緑)の校正はNST基準値によるもので正確です。

■財団法人日本品質保証機構の校正済みの赤・青・緑の色ガラスフィルターにより検査しております。

■操作・簡便ワンタッチ方式です。

■器差はBCRA-IIの12の色差平均 $\Delta E_{0.25}$ 以内です。

付属品

- ・標準白色板1枚
- ・標準色板(赤・青・緑)各1枚
- ・予備光源ランプ 12V100W1個
- ・予備ヒューズ2個
- ・粉末用(ペースト用)丸型ガラス製セル3個
- ・透過用角型ガラス製セル3個
- ・各接続ケーブル1組
- ・記録紙1ケース

第1種分光測光器による最高精密測定方法です。



JIS-Z-8722による「第1種分光測光器」は

- 1.波長範囲は380~780nmとする。
- 2.分光測光器の射出スリットから出る放射束の有効波長幅は、三刺激値の計算を5nm間隔で行う時は 5 ± 1 nmとする。
- 3.波長目盛：分光測光器の波長目盛りを任意の呼び波長に設定した時、分光測光器の透過波長帯の重心波長は呼び波長から1nm以内とする。

測定項目のCRT表示・プリントアウト

- 分光分布曲線：380~780nm間の0.5nmステップ
- 分光反射(透過)率：380~780nm間の5nmステップ
- 座標軸：①CIEのYxy、L*a*b*の色度図
- マンセル表色値：HV/C(修正マンセル)

測定項目

- ◆A、C、D65、F6、F8、F10各標準の光による 2° 、 10° 視野の測定値メタメリズム(条件等色度)の測定三刺激値X、Y、Z、色座標Y、x、y
黄色度Y1、黄変度 $\Delta Y1$ 、白色度W、DENSITY
Lab表色系(R.Hunter)
L、a、b ΔL 、 Δa 、 Δb 、 ΔE
L*、a*、b*表色系(CIELAB)
L*、a*、b* ΔL^* 、 Δa^* 、 Δb^* 、 ΔE^*
L*、u*、v*表色系(CIELUV)
L*、u*、v* ΔL^* 、 Δu^* 、 Δv^* 、 ΔE^*
- ◆平均値：上記測定項目の平均値(試料数100点可能)
- ◆分光反射率、透過率、分光カーブ(380~780nm)

光学系の種類と原理

